

8 月 10 日 (木) 9 時 30 分 CRT スタジオで収録

トップ校・難関校合格のために

ーまずは、読書に励み、読解力を身に着けようー

開倫塾

塾長 林明夫

足利高校時代の思い出(足高第 21 回卒)

1. 足利高校では、大阿久基次先生のクラスで 3 年間同じメンバー、アイウエオ順の同じ席次で過ごした。
2. (1)卒業した年は、東京大学の入試がなかったので、同じクラス、同じ学年から卒業の年に東京大学へ進学した同級生は誰もいない。
(2)ただ、2 年前に久しぶりにクラスの同窓会を開いたら、同じクラスから医学部に 6 名進学し、現在、足利市内で開業し大活躍している同級生が 3 名もいた。司法試験に合格し、裁判官になった同級生もいた。
(3)日本不動産鑑定士協会の会長や、日本ペットボトル協会の会長もいた。
(4)シミュレーションゲーム「信長の野望」や「三国志」を世に出したコーエーの創業者で、クリエイターの「シブサワ・コウ」こと、襟川陽一君も 3 年間同じクラスだった。別のクラスには作詞家の売野雅勇君もいた。
3. 私は、新井衛君(経済学部)、襟川陽一君(商学部)とともに、現役で慶應義塾大学法学部法律学科に進学したが、大学入学後、学力レベルは足利高校は極めて高かったことに衝撃を受けた(高校時代にもっと勉強しておけばよかったと、大いに反省した)。
4. (1)なぜ足利高校は、同じクラスから医学部に 6 名も進学し、日本や地元の各分野で大活躍する人物を育てたか。
(2)今になって考えれば、文科系も理科系もよく本を読んでいたからだと思う。
(3)3 年間、現国を担当した倉沢先生は、本は全集で読むこと、本は最後まで読むことを言い続けた。
(4)全集とまではいかなくても、文科系も理科系もよく本を読んだ。大学生が読む本を手にしているクラスメートもたくさんいた。

5. (1)当時、足利高校の正門の近くに、小さな体育館くらいの大きさの図書館があった。
- (2)私は、なぜかその図書館が大好きで、学校に行く日で図書館に行かない日はないくらいだった。
- (3)図書館好きは私だけでなく、たえず多くの生徒でごったがえしていた。
- (4)一番驚いたのは、何人かの先生方が、図書館で生徒と一緒に勉強していることだった。
- (5)眠る時間以外は勉強している生徒が多かったため、足利高校の先生方も相当勉強しないではすまないのだなと思った。
6. (1)修学旅行は、長崎や阿蘇山、別府などを巡る足利高校初の九州旅行だった。行きは博多まで新幹線、帰りは大分から神戸までフェリーと、人生初の長旅を皆、大いに楽しみ、高校時代最大のよい思い出となった。
- (2)先生方はさぞ準備や引率が大変だっただろうと、皆、感謝していた。
7. (1)授業で一番印象に残っているのは、倫理。
- (2)1学期に日本や世界の思想家をクラス全員に割り振り、2学期以降に順次発表させるというものだ。
- (3)私は、江戸時代の思想家、荻生徂徠^{おぎゅうそらい}を担当。「政談」や丸山真男の著書にまで手を出したが、しょせん高校生、なかなか理解できず、悪戦苦闘して発表を終えた。
- (4)だが、同級生のみならず、担当した先生までが舌を巻くほど立派な発表し、後に裁判官になった同級生もいた。
- (5)この発表のおかげで、思想史が好きになり、大学に入ってから法思想史のゼミに入ったり、今でも日本や欧米、中国、インド、イスラムをはじめ世界各地域の思想史の本を、少しずつ読むきっかけをつくって頂いた。
8. 高校の勉強も、世の中に出て随分役に立つものだと思う昨今だ。

— 2023年8月10日記 —